

目 次

はじめに

序 章	震災によって浮き彫りになった4つの脆弱性	田中真理	2
	1 「障害」による被災の格差と特別支援教育		
	2 震災によって浮き彫りとなった脆弱性とは		
	3 特別支援教育理念は震災対応にどう活かされたか		
第一部	震災が「特別支援教育」に問うたもの		
第1章	震災によって顕わになった特別支援教育の課題		
第1節	避難所運営における特別支援学級児童への配慮	菊地秀敏	16
	1 高砂小学校特別支援学級と高砂小学校の避難所運営について		
	2 衛生面への配慮		
第2節	重い障害をもつ子どもの保護者の調査と手記から	川住隆一	20
	1 保護者への聞き取り調査の実施		
	2 聞き取り調査結果の概要		
	3 保護者から寄せられた手記（事例1～5）		
	4 保護者の声を受けて		
第2章	重度・重複障害児・者の被災と、防災への提言	菅井裕行	44
	1 重複障害児・者が直面した生命危機		
	2 子どもたちにみられた変化		
	3 震災発生時の特別支援教育教師と子ども		
	4 避難所となった学校への大学生の支援		
	5 学校再開とその後の子どもたち		
	6 被災者であり支援者であった教職員の状態		
	7 提言：重複障害児・者の防災		

第3章 震災が子どもたちに及ぼした心理的影響

梅田真理 70

- 1 災害が子どもたちに及ぼした影響について
- 2 「時間」の経過に伴って
- 3 「失ったもの」との別れ
- 4 子どもたちに対するストレスマネジメント

第4章 環境整備と防災教育への提言

安田まき子 82

- 1 調査について
- 2 調査からみえてきた状況と課題
- 3 緊急時の支援として参考となる事例
- 4 新たな防災教育の取組み事例
- 5 まとめ

第二部 震災が「障害」を襲ったとき

障害のある子どもたちと家族や教師が直面したこと

第5章 避難所運営を通してみえた学校の役割

——特別支援学校教師の立場から 片岡明恵 100

- 1 重度・重複障害 狩野悟君の「生きたい」と思い続けた命
——医療器具が使えず命をおとす
- 2 学校の避難所運営を通してみえたこと
- 3 「災害弱者」は誰だったのか
- 4 震災後にみられた子どもたちの特徴的な姿（障害種別）
- 5 特別支援学校教職員に求められること
- 6 震災をきっかけに変わった保護者の考え
- 7 特別支援学校をどう位置づけるのか

第6章 震災に学ぶ今後の危機管理支援

——特別支援学校の校長の立場から 櫻田 博 126

- 1 石巻支援学校の対応
- 2 石巻支援学校の課題
- 3 今後の危機管理の視点

第7章 特別支援教育は避難生活の「公平性」とどう向き合ったか

- 第1節 福島県災害対策本部の業務経験から 佐藤 登 150
- 1 県災害対策本部業務からみえた現状と課題
 - 2 障害のある児童生徒の避難の現状と課題
——保護者アンケートからみえたもの
 - 3 災害発生時の特別支援学校の地域での役割
- 第2節 避難所となった特別支援学校の経験から 佐藤 智 165
- 1 避難所における公平性について
 - 2 避難所開設と運営
 - 3 避難者支援における公平性、特性への配慮
 - 4 学校再開にむけた支援体制の変化と自治組織への移行

第8章 特別支援教育教師が体験した不均衡なリスク

- 福島の障害者の震災被災と避難の調査から 中村雅彦 172
- 1 地震発生時の教師の対応
 - 2 自助・共助・公助を生み出すための教育をどのように発信したのか
 - 3 障害者の死亡率から読み取るものとは

第9章 震災を通して「双方向の支援」を考える

- 熊本葉一 190
- 1 ふたつの事例からみえてきたもの
——被災した自閉症児・者の報告から
 - 2 支援とは何か——支援する側とされる側の関係
 - 3 これからの特別支援教育が担うもの
——インクルーシブ教育は共生の教育でなくてはならない

座談会 「障害」から問う3つの課題

- 共生社会、防災教育、教育復興ニーズ 204
櫻田 博・野澤令照・熊本葉一・田中真理・菅井裕行・川住隆一

- おわりに 226
執筆者紹介 231